

# 令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3	学年・学科	3学年・全学科
教科書	大修館書店「新編現代文B」		副教材	学習課題ノート 浜島書店「実用国語セミナー」 数研出版「プレミアムカラー国語便覧」			

目 標	○近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を育てます。
学 法	○文章にまとめたり、話し合ったりすることで、積極的に学びあう活動します。 ○自分の考えをまとめたり、メモを取ったり復習に活用できるノート作りを行います。 ○副教材を活用して、基本となる言語事項に関して反復して学習します。

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考 査	考査以外
学 習 評 価	a 関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	前期中間	20%	5	15
			前期末	20%	5	15
			後期中間	20%	5	15
			後期末	20%	5	15
	b 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	前期中間	15%	0	15
			前期末	15%	0	15
			後期中間	15%	0	15
			後期末	15%	0	15
	c 書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	前期中間	15%	5	10
			前期末	15%	5	10
			後期中間	15%	5	10
			後期末	15%	5	10
	d 読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	前期中間	25%	20	5
			前期末	25%	20	5
			後期中間	25%	20	5
			後期末	25%	20	5
	e 知識・理解	言語文化及びことばの特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。	前期中間	25%	20	5
			前期末	25%	20	5
			後期中間	25%	20	5
			後期末	25%	20	5

学期	単 元 名 ( 題 材 )	学 習 内 容 ( 小 単 元 )	評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前 期 中 間	伝統を受け継ぐ 『ひかりのどけき春の日に 一日本人と桜』	古来日本人がどのような思い で桜を愛でていたのかを読み 取ります。	○	○		○	○	b:桜を詠んだ和歌について現代語 訳とその内容を説明することができる。	・行動の観察 ・記述の分析 ・行動の分析 (授業ノート、 授業プリント、 課題の提出) ・行動の確認 (小テスト、 定期考査)
	若い人たちへ 『どんな人になりたかっ たか?』	筆者が理想とする人間像を読 み取り、理想の人物像について 考えます。	○		○	○		c:本文を踏まえて自分が理想とす る人物像について具体的に書くこ とができる。	
	伝統を受け継ぐ 『殺し文句は永遠に一 恋する伊勢物語』	「伊勢物語」第六段の内容を筆 者がどのように感じているかを 読み取り、心に残る言葉につい て考えます。	○		○	○		d:筆者が「伊勢物語」をどのよう に解釈しているのか、的確に読み取 っている。	
	『実用国語セミナー』	p2~19, 34~37にある問題演 習をとおして、語彙力を高めま す。	○				○	e:常識的な漢字の読み書きがで き、ことわざや慣用句の意味を理解 している。	
前 期 末	若い人たちへ 『夢を建てる人々』	未来の自分の姿や将来の夢に ついて考えを深めます。	○		○	○		c:本文を踏まえて、自分の将来の 夢や仕事について考えたことを書 くことができる。	・行動の観察 ・記述の分析 ・行動の分析 (授業ノート、 授業プリント、 課題の提出) ・行動の確認 (小テスト、 定期考査)
	俳句	俳句の特色を理解し、俳句を鑑 賞します。	○	○			○	b:好きな俳句について自分なりに 読み取ったことをまとめ、発表す ることができる。	
	小説を楽しむ 『待合室』	登場人物の人間像やそれぞれ を心情を読み取ります。	○		○	○		d:待合室にいる人々の心情がど のように表現されているのか正確 に読み取り、理解している。	
	『実用国語セミナー』	p20~33, 52~59にある問題 演習をとおして、語彙力を高め ます。	○				○	e:常識的な漢字の読み書きがで き、ことわざや慣用句の意味を理解 している。	

後期中間	伝統を受け継ぐ 『和の思想、間の文化』	日本文化に通底する「和」やそれを支える「間」について、筆者の考えを読み取り、考えを深めます。	○	○	○	○	b: 日本文化の中の「間」について具体例を挙げて調べたり考えたりしたことを発表することができる。	・行動の観察 ・記述の分析 ・行動の分析 (授業ノート、授業プリント、課題の提出) ・行動の確認 (小テスト、定期考査)
	名作を読む 『こころ』	近代文学の名作を味わい、場面の推移や登場人物の心情の移り変わりを読み取ります。	○	○	○	○	c: 作品を読んで感じたり考えたりしたことを、効果的に伝えるように工夫して書くことができる。	
	『実用国語セミナー』	p38～53にある問題演習をとおして、語彙力を高めます。	○	○	○	○	e: 常識的な漢字の読み書きができ、ことわざや慣用語の意味を理解している。	
後期末	社会に生きる 『幸せの分量』	現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取ります。	○	○	○	○	c: 「愚直に働いている」「平凡な人」の例を挙げて調べ、「幸せ」について自分の考えを書くことができる。	・行動の観察 ・記述の分析 ・行動の分析 (授業ノート、授業プリント、課題の提出) ・行動の確認 (小テスト、定期考査)
	現代を考える 『敬語への自覚、他者への自覚』	「敬語」と「他者への自覚」との関係を読み取り、言葉の問題と社会の関わりについて考えを深めます。	○	○	○	○	b: 敬語についての筆者の考えを整理して説明し、「若者言葉」の例を挙げてわかりやすく発表できる。	
	『実用国語セミナー』	問題を総復習することで、語彙力を高めます。	○	○	○	○	e: 常識的な漢字の読み書きができ、ことわざや慣用語の意味を理解している。	